

平成13年10月26日

各位

上場会社名 株式会社 大 東 銀 行
本社所在地 福島県郡山市中町19番1号
コード番号 8563
上場取引所 東京証券取引所（市場第1部）
問合せ先
責任者役職名 取締役執行役員総合企画部長
氏 名 樋 山 誠 史
電 話 番 号 024-925-1111

平成14年3月期中間期の有価証券評価損並びに
平成14年3月期中間期業績予想の修正について

1. 平成14年3月期中間期の有価証券評価損について

当行では、「その他有価証券（財務諸表等規則第8条第21項に規定するその他有価証券をいう。）」について、金融商品に係る会計基準により、帳簿価額に比べ時価あるいは実質価額が著しく低下した銘柄につき減損処理（有価証券評価損）を行うこととしておりますが、この度平成14年3月期中間期における有価証券の評価損を算出いたしました結果、以下のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

(A) 平成14年3月期中間期の有価証券評価損の額	1,357 百万円
(B) 平成13年3月期の純資産額 (A/B×100)	28,404 百万円 (4.8%)
(C) 平成9年3月期から平成13年3月期までの平均経常利益額 (A/C×100)	676 百万円 (200.7%)
(D) 平成9年3月期から平成13年3月期までの平均当期純利益額 (A/D×100)	266 百万円 (510.2%)

(参考)

- (1) 当行の中間決算期末は9月30日であります。
- (2) 減損処理にあたり、時価のある銘柄は期末日における時価の帳簿価額に対する下落率が50%程度以上の銘柄について、一律減損処理しております。下落率が30%以上50%未満の銘柄については、過去一定期間の時価の推移や発行会社の業績の推移などを考慮の上、回復する見込みがないと判断される銘柄を減損処理することとしております。
また、時価のない銘柄は、帳簿価額に対して実質価額が原則として50%程度以上下落した銘柄を減損処理しております。

2. 平成14年3月期中間期業績予想の修正について

当行は、最近の経済金融環境の変化及び業績の動向等を踏まえ、本年5月の決算発表時に公表いたしました平成14年3月期中間期の業績予想を以下のとおり修正いたします。

(1) 平成14年3月期中間期（単体）の業績予想数値の修正（平成13年4月1日～平成13年9月30日）

（単位：百万円）

	経 常 収 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想（A） （平成13年5月25日発表）	9,000	700	300
今回修正予想（B）	10,200	280	300
増 減 額（B－A）	1,200	△ 420	0
増 減 率	13.3%	△ 60.0%	0.0%
（参考）前中間期の実績	9,430	401	230

(2) 平成14年3月期中間期（連結）の業績予想数値の修正（平成13年4月1日～平成13年9月30日）

（単位：百万円）

	経 常 収 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想（A） （平成13年5月25日発表）	10,000	750	310
今回修正予想（B）	11,200	310	310
増 減 額（B－A）	1,200	△ 440	0
増 減 率	12.0%	△ 58.7%	0.0%
（参考）前中間期の実績	10,537	568	278

(3) 修正の理由

①単体業績予想修正の理由

ア．経常収益は、債券売却益等の計上により当初予想を13.3%上回る見込みです。

イ．経常利益は、上記のとおり経常収益で増収となりましたが、上記1．の有価証券評価損（減損処理）が発生したことを主因として、経常費用の増加額が経常収益の増加額を上回ったことから、当初予想を60.0%下回る見込みです。

ウ．中間純利益は、当初予想どおりの見込みです。

②連結業績予想修正の理由

連結業績予想の修正につきましては、単体業績予想の修正に伴うものであります。

(4) 中間配当

中間配当につきましては、本年5月に発表いたしましたとおり、1株当たり2円50銭を予定しております。

(5) 自己資本比率の見通し

自己資本比率につきましては、当行は国内基準を適用しておりますが、平成13年9月末の単体の自己資本比率は7.2%程度となる見込みです。

(6) 通期の業績予想

単体並びに連結の平成14年3月期通期業績予想（平成13年4月1日～平成14年3月31日）につきましては、中間決算発表時にお知らせいたします。

以 上